

国民健康保険税の納期限の見直しはできないか

慎重に検討を進めたい



富重 幸博 議員

国民健康保険税の納付状況について説明を求めます。

納付状況は全国平均である

町長

過去3年間の実績からも、全国の平均値である92%から93%を達成し、その数字を目標に努力している。

滞納処分の状況は

富重議員

滞納処分などの実施状況はどのようになっているか。

計画的な事務処理を行う

町長

年5回に分けて催告書を通じ、分納誓約書を取り交わし、計画的に納付するよう事務処理を行っている。

納期の見直しを行う考えは

富重議員

1期当たりの負担額の低減をはかるために、納期を8期から10期に改定する考えはないか。

慎重に検討をしていく

町長

賦課処理システムの改修など、予算措置が必要になる。全体的な費用対効果を精査・分析し、慎重に検討していきたい。

公共施設屋外トイレの管理状況は

富重議員

公共施設屋外トイレの管理の現況はどのようになっているか。また住民をはじめ、利用者からの苦情や相談はないか。

事業者などに年間委託

町長

都市公園や運動公園について、週2回から3回の清掃を、シル

バー人材センターや造園業者に年間委託している。これまでも苦情や通報があり、その都度早急な対応を行っている。



町総合体育館裏側のトイレ

弾力的な運用をはかれないか

富重議員

清掃管理の中で定期的な回数を見直しや、イベントなどの時期を勘案して、曜日振りかえるなど、弾力的な運用をはかることも可能ではないか。

臨機応変な対応を整える

町長

イベントなどの時期を考慮した清掃日の設定など臨機応変に対応する。

災害避難場所の3密対策の現況と課題は

富重議員

新型コロナウイルス感染症拡大を予防する3密（密閉、密集、密接）防止に関して最大の懸念は、災害そのものの危険への対処、避難場所での運営について、消毒その他の見直しが喫緊の課題となっている。

災害避難場所の現況と運営をめぐる新たな課題について、町長の認識を示せ。

従来の避難場所と異なる管理運営のあり方を検討

町長

新型コロナウイルス感染症と自然災害が重なる複合災害が懸念される。

避難場所は、3密が生じやすく、感染防止と災害対策の両立をはかっていくことが重要な課題だと認識している。

感染防止に向けた受け入れ体制や環境、備蓄品の充実など、従来の避難場所とは異なる管理運営の在り方を再検討する。

避難場所の再検討は

富重議員

緊急避難場所は、3密防止の

観点から、収容可能人数が4分の1程度まで減ることから従来の避難場所では足りなくなる。新たな避難場所を検討する必要があるか。

新たな避難場所も検討する

町長

混雑が予想される場所は、近くに新たな避難場所を開設するなど、分散した避難を考える。

大規模災害発生時には、避難場所が不足することも考えられるので、公共施設のほか、民間施設も視野に入れた避難場所も検討したい。

衛生機器など万全の配置を

富重議員

災害避難所として選定された公共施設については、消毒など衛生機器などの設置・配置及び補充物資の確保は必須要件となるが、現時点で問題ないか。

計画的に準備していく

町長

マスク1万枚や消毒液、非接触型の体温計などの備蓄を進めている。今後とも、計画的に準備していきたい。